

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ユニスク
------	------

公表日 令和8年 3月 24日

利用児童数 41名

回収数 16名 (39.0%)

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1	0	2	・広いです ・広々としたスペースを確保されていると思う。	・今後も配置の工夫などしながら、スペースの確保に努めていきます
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	2	0	2	・困った時にすぐに人に聞ける環境です	・受講生の人数に合わせて職員の配置をしています、今後も適切な人員配置に努めていきます
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1	0	3	・段差がないです。 ・障害特性に応じてバリアフリー化はされていると思うが情報伝達等の配慮がされているのかわからない。	・受講生の特性に合わせた情報伝達の配慮についても、職員間で検討し取り組んでいます
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1	0	1	・掃除が行き届いていてきれいです。 整理整頓されています。	・毎朝の清掃、日ごろの整理整頓を心がけていきます
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1	0	0	・親も勉強になります。 ・よく子供のことを見て話を傾聴していただき専門性のある支援をしていただいています。 ・子供の特性と何を支援してどの授業を受けたほうがいいのかわからないところはあります。	・受講生の特性に合わせ、受講をお勧めしたいカリキュラムについても保護者様へお伝えできるよう取り組んでいます
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	1	・あっています。	・公表した支援プログラムと相違ないよう支援していきます
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	1	・計画表は親が指導するには難しい事も相談して対処していただいています。	・今後も、受講生と保護者様のニーズのヒアリングや課題分析をしながら分かりやすい計画作成に努めます
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1	0	0	・学校での教科書の勉強だけではわからない、生きていく為に必要なたくさんの知識や知恵、実習を受けていると思います。	・今後も、受講生と保護者様のニーズのヒアリングや課題分析をしながら分かりやすい計画作成に努めます
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	5	0	1	・火曜日が部活なので山田先生の授業が受けられないことが多いです。違う曜日でも山田先生の授業があるといいなあと思います。	・曜日固定のカリキュラムの受講が難しい場合は必要に応じて個別面談の対応なども検討していきます ・カリキュラムの固定化を防ぐよう対策を検討していきます
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	5	2	7		
保護者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	1	0	・わからないことも丁寧に説明してもらっています	・保護者様へのご説明は丁寧に、不明点はすぐに解決できるよう迅速な対応に努めていきます
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	1	0	1	・何度か参加しました	・保護者様もご参加いただける、専門家による研修を定期的に開催しています、今後も開催をしていきます
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14	2	0	0	・利用日ごとに連絡が来て読むのを楽しみにしています。	・利用時は毎回連絡帳を送信し、LINEでのやり取りもしています ・面談時の情報共有と共通理解に努めています
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	2	0	1	・学校の事や自宅でのことも相談して、助言をいただいています。	・進学や計画更新時に面談を実施していますが、今後も保護者様のご相談に迅速に対応できるよう努めていきます
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	0	・話をすると心が軽くなります ・しっかりと勉強してきて、先生との会話も楽しみなようです。	・今後も研修や情報共有を行い、継続して共感的な支援を提供できるよう職員一同努めていきます

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	6	0	5	・何度か参加しました	・年に数回保護者会の開催をしています、ごきょうだいへの支援については個別では行ったケースもありますが、イベントなども検討していきます
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	0	0	1	・毎回対応してもらってます ・子供、保護者各相談事に耳を傾けてくださり、職員同士との連携も取られてるとおいます。	・今後も受講生やご家族からのご相談などには迅速に対応するよう努めていきます、相談窓口については契約時に周知を行っています
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1	0	0	・LINE、アプリ、電話などいつでも連絡できる体制ができてます	・ご連絡しやすいよう、LINEの利用やかべなしクラウドシステムの利用を今後も継続し、迅速な対応に努めていきます
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	2	0	2		・ホームページにてプログラム表の公開をしています、自己評価結果もホームページに掲載しています
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	0		・今後も個人情報は十分留意して取扱っていきます、職員への研修や周知にも努めていきます
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1	0	4		・各種マニュアルを整備し、定期的に避難訓練等を実施しています、面談時や掲示などでマニュアル周知に努めます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	2	0	3		・法令で定められた回数に加え事業所独自でも避難訓練や災害についての訓練を行っています、今後も継続していきます
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	3		・受講生の安全確保には十分配慮し支援をし、安全計画を策定し施設整備にも努めています、継続して取り組みます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1	0	5		・怪我等の発生時には保護者様への連絡、管理者より状況説明を行っています、今後も迅速な対応に努めていきます
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	2	0	0	・もう一つの居場所となっております ・子供の目線に合わせ寄り添っていただき居場所になっているようです。 ・体調が悪くても、参加したいと思っています。	・安心感をもって通所していただけるよう、声かけや環境調整などの配慮に努めていきます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	3	0	0	・毎日楽しくしています ・出来れば、毎日行きたいと思っています。 ・楽しんで通ってます。	・楽しんで通所していただけるよう、プログラムの工夫や必要に応じた個別での声かけなどの配慮に継続して努めていきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	0	0	0	・これからもよろしくお願ひします ・学校に行くよりユニスクに行くほうが先生やお友達と話せるので満足しているようです。毎回の授業も勉強になるようです。これからもよろしくお願ひ致します。	・支援にご満足いただけるよう、職員一同これからも各自自己研鑽し、丁寧な支援に取り組んでいきます

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ユニスク		公表日		令和8年 3月 24日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		5	1
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		5	1		・現状は大丈夫だが、受講生の状況によって人手が必要な場合がある ・特に土曜日、職員の急な休みの関係で12人の利用に対し2人の職員の対応になる場合がある ・現在は適切だと思うが、カリキュラム等で安瀬を配慮する場面では疑問に感じる	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5	1	・事業所内はバリアフリー化できている	・オフィスビルの中に事業所があるため入口に階段がある	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		6		・毎日の清掃、活動に応じて配置換えを行う ・オゾン発生装置での感染予防		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		6		・ソファの休憩スペースをカーテンで仕切っている、区切られた学習室・相談室を設置している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		5	1	・モニタリングとケース検討をできるだけ職員全員で実施している	・業務の中で何を示すのかが解らない
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6		・ミーティングで発言の機会が設けられている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		1	5		・外部評価は行われていない ・事業所相互でチェックするため、必要性があるのか解らない ・実施されているのか不明（2）
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		6		・研修日を年間計画に沿って行っている	・パート勤務のため、事業所内研修に参加できる機会が少ない ・時間の確保が難しい
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		6		・HPに分かりやすく公表されている ・毎月、決まった日時での公開を行っている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		6		・モニタリングの前に話し合いをして確認している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		6		・検討会をしてきている ・日々定期的に情報交換し、話し合いをしています	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		5	1	・全員共有するよう指示している ・クラウド上で共有している。個別ファイルにもプリントしすぐ確認できるようになっている ・支援メモで確認できるようにしている	・計画に沿った支援の実施にはまだまだ課題があると感じる
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		6		・アセスメントシートに記入 ・日々の観察は授業含めやってくれていると思う	・フォーマルなアセスメントは実施できていない ・どのようなものか解らない

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・一人一人で見直し、全体での話し合いも行われている	・どのようなものか解らない
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	・個別で考え、もっとすすめて良いカリキュラムもあるかと思う時もある	・どのようなものか解らない
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			・できる時とできない時があり、充分ではないと思うことがある ・偏った分担になったりしていないか、全員がサポートを意識して動いているか確認している
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・その日のうちにできない場合は、後日行うようにしている(2)	・記録を読むことは必ず行っているが、話すことは時間が無く、できていない事が多い ・連絡帳などを優先にすると話ができない日がある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・ケース記録の入力、ミーティングでの共有	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・児童発達管理責任者が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・受診同行や学校訪問、行政機関も参加の支援会議参加を行っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4		・対象が中高生のため機会がない(2) ・実施されているか解らない ・情報がない時は小学校まで問い合わせた事があった ・併用先放デイとは併用開始時にできるだけ情報共有を行い、適宜連携し支援している
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			・同じ法人内の成人の施設などでは行われていると思う
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		・県の療育センターでの研修を受けている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		・できていない
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	・児童発達管理責任者が参加されている ・放課後等デイ連絡会に参加している	・佐賀市では協議会が動いていないため参加が難しい ・どのようなものか解らない

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		・教室長がセミナーを行っている
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			・教室長のセミナーで行われている
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6		・3~4カ月に一度、保護者会を行っている ・保護者会に参加時に同伴で来られた家族、兄弟の交流はあった	・兄弟同士の交流はしていない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・HP、インスタグラム、ブログを発信している ・毎月のプログラム画像送信	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		・どのようなものか解らない ・今後の課題です（2）
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		・どのようなものか解らない
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ユニスク		
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 15日		～ 令和7年 11月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 1日		～ 令和7年 11月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・共感的支援について保護者様、受講生に満足していただけており、迅速な面談などご相談への対応や計画内容とご説明にご満足いただけている点	・利用時には受講生ひとり一人の様子を見ながら、適宜個別で声かけし対話の時間を設けたり集団での余暇活動への誘導をしたりして、安心して過ごせるよう配慮している ・ご相談、面談のご希望に対応し、迅速に不安やお困りごとの解消ができるよう取り組んでいる	・関係機関でのフォーマルなアセスメントや、事業所内での行動観察・本人とのやり取りなどからのアセスメントを基に、特性と受講生の状況に応じた支援計画立案、丁寧な説明、必要に応じて希望以外のカリキュラムへの参加の声かけも取り組んでいきたい
2	・5領域全般に対応したカリキュラムの工夫について評価いただけている点	・毎月のカリキュラム立案時に偏りがないう職員間で話し合い、分担し内容立案の取り組みを行っている ・定期的に受講生にアンケート調査を行い、カリキュラムの満足度や希望の調査を行うようしている	・予約状況を見ながら、必要に応じて、希望予約された以外の必要性の高いカリキュラムについても予約の声かけの取り組みを行っていききたい
3	・毎朝のミーティングや定期的な事業所間のミーティング、クラウドサービスのシステムを利用したサービス提供記録の一元管理により、職員間での情報共有が行えている点	・毎朝職員各自、昨日のサービス提供記録の振り返りを行いミーティングでの情報共有に努めている ・担当受講生に関しての学校や相談事業所からの連絡なども、システムに各自で記録を行い職員間で情報共有しやすいようしている	・記録の振り返りや情報共有はできているが、対面で話し合う時間の確保が難しいときがあるため、時間を設定してケース検討や各種業務についての相談などがしやすいよう取り組みをしていきたい

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・カリキュラムによっては、中高生で体格も大きいため手狭に感じたり身体接触など危ないと感じる場面があること	・身体を動かす活動では受講人数が多くなりやすい点 ・受講生の特性によっては、動きが大きくなりすぎたり突発的な動きが生じたりするため	・カリキュラム内容、実施時の環境調整や職員配置の工夫 ・実施場所の再検討、体育館の借用回数を増やす、受講人数が多くなりやすいカリキュラムについては複数回の企画をする等
2	・保護者会を開催しているが土曜など固定曜日での開催になりやすいため、参加者が固定化しやすくお仕事の都合等で参加したくてもできないとの意見があること	・受講生へのサービス提供や職員勤務の都合により土曜開催になりやすい ・開催日程の決定が1か月～数週間前になり、保護者様がお仕事のご都合を調整しづらい	・土曜午前以外でも開催できるような調整の工夫 ・年間計画として保護者会を計画し、1か月以上前にできるだけ周知するなどして広く参加していただけるよう取り組んでいきたい
3	・地域行事への参加や、地域の他の子どもたちとの交流が難しいこと	・中高生が対象のため、メインのカリキュラム時間が遅く地域行事活動への参加が難しい ・地域の中高生と交流できる場や地域活動などの情報に乏しい	・できるだけ市内や近隣地域で開催されるさまざまなイベントの情報を集め、長期休み中のプログラムにて地域に出る外出行事などの企画に取り組んでいく ・受講生の希望も聴取しながら、参加が楽しみになり地域に貢献できるような活動の情報を得られるよう、関係機関との連携・情報共有にも努めていく